

走行チェックシート

日付	2012年10月28日 (日)		時間	~	イベント	2012MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦		
天気	雨		マシン	GSX-R1000 L2	ライダー	今野由寛		
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	17	°C	
	コンディション	WET			気圧	1021	hpa	
	路面温度	17	(計測時間)		湿度	78	%	
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10		エンジンOIL	シェルアドバンス RMG-001 #40			
	ファイナルレシオ	16 x 42(2.625)						
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.19	4th	B(31/21)	1.48		
	2nd	B(34/18)	1.89	5th	B(28/21)	1.33		
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	B(26/21)	1.23		
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-13			
	スプリング	10.25	N/m	OIL	SR6 #5			
	自由長	-	mm	油面	195	mm		
	イニシャル	13	mm	残ストローク	mm			
	COMP	-12		突き出し	STDトップブリッジで0mm突き出し mm			
リア	パーツ名	SHOWA(340mm)		TEN	-8			
	スプリング	100.0	N/m	残ストローク	mm			
	自由長	-	mm	リンク	SPL			
	イニシャル	13	mm	リンクロッド	- mm			
	COMP(HI)	+1と1/4回転		車高	STD+22mm ピボット-2mm スイング長616mm mm			
	COMP(LO)	-15						
タイヤ	フロント			リア				
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ			
	サイズ	125/80/R420		サイズ	210/60R420			
	エア圧	2.2		エア圧	1.5			
チェック	順位	6位		ベストラップ	2' 09" 298(ドライ)			
	水温	-	°C	油温	-	°C		
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km		
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ		

<コメント>

皆様お元気ですか？
 早いもので、全日本選手権も最終戦となりました。
 今回事前テストはなくレースウィーク前に一日多く走行日があるだけなのでほぼぶっつけ本番です。
 ここは鈴鹿8耐も含めて日本で一番走っているサーキットです。
 今野選手も鈴鹿の自己ベストタイムを更新してトップグループに割って入りたいところです。
 テスト初日の目標は自己ベスト更新でしたが、残念ながらベストの0.5秒落ちでした。
 車体は鈴鹿8耐の仕様に戻してのスタート。夏はフロントタイヤが厳しく、フロントを攻撃しないセッティングにせざるを得ませんでした。
 しかし、路面温度が下がったことでタイヤのパフォーマンスを発揮させられます。夏にできなかった仕様を試すチャンスでもあります。
 車高を上げて旋回性を出していけると東コースでのタイムアップにつながります。
 二日目のタイムは自己ベストと同タイムで終了。
 翌日は予選です。最終戦ということもあり実力のある選手も多く出てきます。しかも今回最終戦は2レースあります。
 Q1の結果でレース1のグリッドが決まり、そしてQ3の結果でレース2のグリッドが決まります。
 Q1は早々にタイムを出して8番手グリッドを獲得。Q2は12台に残り、Q3へ。
 ここで自己ベストの2' 09" 298をだして10番手を獲得。
 Q1で計測一周目に9秒台で周回できました。
 最近の決勝レースでの課題はスタート直後にいかに早く自己ベストまで持っていくか？というところでしたが、その課題は克服されつつあります。
 しかし翌日は雨。レインセットとしてCOMPとTENを3クリックくらい抜き朝フリースタート。
 感触は悪くなく、減衰を気持ちかけてRACE1スタート。
 スタート前に雨量が増えてきたので前後ともエア圧を0.1高めにしました。
 雨量が多いと発熱しにくいので予めエア圧は高くしておくほうがいいです。
 決勝レースがスタート。一周目は9番手で通過。
 その後一台かわったあたりから豪雨に。しかし今野選手はペースを落とさずに走行。後半はトップと変わらないタイムで走行していました。
 結果6位でチェッカー。
 さて少ししたらRACE2が始まります。
 雨量はまだ多めだったのでRACE1の結果を踏まえてイニシャルを前後1mm下げたスタート。
 RACE2はスタートがちょっと出遅れてしまいましたが8番手で一周目通過。
 思ったよりも雨量が少なく車体もリヤが低くフロントに荷重がかかりにくい状態になってしまいました。
 最後は7位でチェッカーを受け今年のレースは終了しました。
 今年一年を走りきることができたのは皆様のあたたかい応援があったからです。
 本当にありがとうございました。

レーシングサプライ
 畑中健太郎

走行チェックシート

日付	2012年10月28日 (日)		時間	~	イベント	2012MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦		
天気	雨		マシン	GSX-R1000 L2	ライダー	今野由寛		
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	17	°C	
	コンディション	WET			気圧	1021	hpa	
	路面温度	17	(計測時間)		湿度	78	%	
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10		エンジンOIL	シェルアドバンス RMG-001 #40			
	ファイナルレシオ	16 x 42(2.625)						
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.19	4th	B(31/21)	1.48		
	2nd	B(34/18)	1.89	5th	B(28/21)	1.33		
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	B(26/21)	1.23		
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-15			
	スプリング	10.25	N/m	OIL	SR6 #5			
	自由長	-	mm	油面	195	mm		
	イニシャル	12	mm	残ストローク	mm			
	COMP	-12			突き出し	STDトップブリッジで0mm突き出し mm		
リア	パーツ名	SHOWA(340mm)		TEN	-8			
	スプリング	100.0	N/m	残ストローク	mm			
	自由長	-	mm	リンク	SPL			
	イニシャル	12	mm	リンクロッド	-	mm		
	COMP(HI)	+11と1/4回転		車高	STD+22mm ピボット-2mm スイング長616mm mm			
	COMP(LO)	-15						
タイヤ	フロント			リア				
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ			
	サイズ	125/80/R420		サイズ	210/60R420			
	エア圧	2.1		エア圧	1.3			
チェック	順位	7位		ベストラップ	2' 23" 257			
	水温	-	°C	油温	°C			
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km		
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ		

<コメント>

レーシングサプライ
畑中健太郎